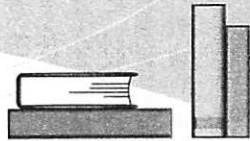


中外図書室



日本宗教史のキーワード 近代主義を超えて

大谷 栄一・菊地 暁・永岡 崇編著

宗教史像再構築

53項目を提示

日本宗教の変遷をたどる上で、大きな転換点となった出来事は幾つも挙げられるだろう。しかし中には現代の宗教像に影響を与えたにもかかわらず、これまで十分に議論されてこなかった重要なトピックスもある。そのような事柄を第一線で活躍する研究者ら51人が53項目のキーワードとして提示し、それぞれ解説した。

本書は2014～16年度に京都大人文学研究所で行われた共同研究「日本宗教史像の再構築」を基に編成された。宗教学、歴史学、社会学、民俗学など様々な分野からアプローチすることで、新たな視点からの疑問点が生まれる。現在まで歴史の教科書で語られてきたような定説を覆し、新たな日本宗教史像を再構築することが本書の狙いだ。

同研究所の菊地暁助教は、各研究分野でデータコソボ化していたテーマをインターフェイスする作業が必要だと述べている。本書では「神と仏」や「妙好人」から「進化論の受容」「マルクス主義と反宗教運動」など、一見断片的に見えるテーマが混在している。しかし日本宗教史の流れの中で関連し合っており、それらを概観することで新たな宗教史像が見えてくる可能性があるといえる。

研究者を目指す若者に向けて、佛教大の大谷栄一教授らの座談会も併録している。

本体価格2900円、慶応義塾大学出版会
(電話03・3451・3584)刊。

日本宗教史のキーワード

近代主義を超えて

大谷 栄一・菊地 暁・永岡 崇編著

慶応義塾大学出版会

